



たか子のあつたが通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email：takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122（共産党）

みんなの力で 署名にご協力を！ 学校給食の無料化の実現を！

四賀小学校に行ってきました。
栄養教諭の先生から地産地消の取り組みを伺ったり、教室での子ども達の食事の様子を見せてもらったりしました。
有機農業の農家さんとも繋がり、給食を食べる子ども達も誰が作った野菜なのかも分かって、とっても良い取り組みでした。



毎日発行される給食だより

栄養教諭の話

食材の調達から出来上がるまで色々な工夫がされ、手間もかかっているというお話で美味しいはずと納得でした。
一歳半の息子も一緒だったので、子どもの大切な体をつくる小、中学生の時期の食育がとても大切との話しがとても印象に残りました。（kさん）

作った人の顔が見える 給食を子どもたちに

給食で地産地消の取り組みを行っている四賀小学校は、時間になると子どもたちが給食室に給食をとりに行き、作った調理員さんたちが応対する、顔の見える関係性の給食でした。

ご飯がしみじみとある美味しい炊き上がりでしたが、子どもたちがとりにくる時間に合わせ炊き上げているそうです。

栄養教諭の先生が地元産の野菜を使えるように献立をつくり、献立にまつわるお話をその日の食材の地元生産者が誰かを紹介するおたよりを毎日発行しています。子どもたちが地元産の生産者の方達とのつながりや食べ物のもつ栄養に興味を持つことを促す取り組みに本当に手をかけておられることを感じました。

当日は地元産りんごピューレを使ったハンバーグ、海苔を使ったあえもの、野菜の汁物というメニューでした。

香りと彩りよく、野菜の食感や豊かなお出汁の香り、和物のやわらかい酸味など食味食感によく配慮された給食は本当に美味しく、日々楽しみにするだろうなと思わせる食事でした。

このような取り組みが市全体の子どもたちまで行き渡ってほしいと思います。

（来年小学生になる子の親 Yさん）

九月議会

市議団が要望してきた

物価高騰対策補正予算が実現

上下水道

全世界に朗報です。上下水道基本料金が四カ月間減免実現しました。昨年度は上水道だけでしたが、今年度は下水道も減免になります。十月一日から四カ月間 上水道 月 858円 下水道 月 1452円

光熱費

介護・障害・市立保育園・幼稚園に対して利用者や子どもの人数に応じて光熱費対策として支援金を支給します。

入浴補助

公衆浴場の入浴料が値上げされました。福祉入浴券が引き続き百円で利用できるように、値上げされた分を浴場事業者へ支援します。

交通事業者へ

タクシー事業者に燃料高騰対策や交通決済キャッシュレス化事業等が予算に盛り込まれました。



意見書採択

「インボイス制度の延期を求める意見書」「核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書」

日本共産党・立憲民主党・社民党で共同提案した二つの意見書が賛成多数で採択されました。

画期的なことです。

一般質問

安心して暮らせる街に

包括支援センターへの行政責任を明確に

質問 高齢者総合相談窓口の地域包括支援センターは市内12カ所が全て民間委託になっている。委託内容はどのようなものか。

また、赤字包括の解消の為に委託費の増額や予防プランを切り離して業務負担を軽減すべきと考えるが？

答弁 総合相談業務や虐待対応等多岐にわたり委託。年々相談件数や緊急対応は増加している。

業務の増大は認識している。国の介護保険改正の動向を注視し、研究をしている。



よりそい型の福祉相談窓口を

生活福祉課の窓口での傷害事件を受けて、防犯カメラの再稼働ではなく、事件の検証を要望する。

質問 ①プライバシーに配慮した相談室を確保してほしい。

②障害福祉課の伴走型支援は不十分だ。ウィッシュ（広域相談センター）の役割が変わり、相談しにくくなっている。

③福祉担当課の専門性の強化が必要。ケースワーカーは全て正規にし、専門職の割合を増やすべき。

④市長の庁舎分散化構想では、福祉行政が充実できない。

答弁 ①衝立を設置するなど環境整備に努める。

アルプス公園整備

まきば山荘跡地の基本計画を策定する。南側展望エリアと基本計画を策定する。基本計画を策定する。基本計画を策定する。

一名の差で修正案は通りませんでした。業者案をしっかりとチェックしていきます。

現行の健康保険証を

残して

質問 ①政府はマイナ保険証をもたない人に資格確認書を発行すると言うが、膨大な作業が見込まれるが、予想される事は。

②「保険証の継続を求める意見書」を六月議会で採択したが、新聞社のアンケートに松本市は保険証は廃止と回答している。議会軽視ではないか。市長の見解を問う。

答弁 ①マイナ保険証保有者の確認が課題。国からは具体的な事務は示されていない。国の動向を注視していく。

市長 ②議会軽視ではない。政府として秋までに問題を解決をして貰いたい。見解は変わらない。

養護学校・サービス事業所に周知している。

③共通課題解決のための合同研修を行う。

④本庁者のスリム化で職員が地域に出やすくなる。

